

〈Q&A〉

【Q】 雰囲気高めるための、スピーチ中の応援やヤジなどはしてもいいのか？

【A】 「そうだそうだ！」などの野次は言わないようにしましょう。

雰囲気というのを感情的に表現したり団結力で争うものではなく、意見や対話などのコミュニケーションを繰り返すことで「理性的で、お互いへの敬意が感じられる雰囲気」を作り上げることが理想です。

【Q】 自身の意見に対して、論理的なものではなく、感情をあらわにした主張や反論をされたらどうしたらいい？

【A】 ディベート中に割って入るのは、意見の表出およびディベートの流れを中断することになるため、あくまでフィードバックの際に指導するのが適切と考えます。ディベート後には、指導者がそれまでの議論を整理し、感情的ではなく論理的な内容例を示しましょう。

【Q】 スピーチのアイデアの出し方を教えて！

【A】 子どもたちにもわかりやすい説明をしたい時は、おしゃべり森のなかまたち「アイデアの出し方とスピーチの方法」を見てみてくださいね。

【Q】 参加者から事前にお題を教えてくださいと言われた。どうしたらいい？

【A】 事前にお題について準備をしておくディベート形式は別にありますが、この教材では、「即興”型”ディベート」というディベート形式を用いたプログラムとなっています。お題が発表されてから 15 分の短い準備時間しか与えられません

が、参加者は、自分の意見とは異なる観点からお題について考える必要があります。そのため、普段からさまざまなお題について興味を持って自分自身で考える習慣が重要です。学年に合わせ、その場で少なくとも賛成理由2つ、反対理由2つが出せそうなお題を設定しましょう。教科書で出てきた話題や学校生活など身近なお題は取り組みやすいです。

【Q】 即興型ディベートに関する参考図書はありますか？

【A】 この教材を監修いただいている一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会のサイトにて参考書籍が出版されております。

<https://pdpda.org/debate/educational-materials/>

授業でできる即興型英語ディベート(PDA)

著者:中川 智皓 出版社:NE 出版